

企業局主要事業

北谷浄水場施設整備事業

北谷浄水場は、沖縄本島中南部に水道用水を供給する基幹浄水場として、昭和62年度に通常処理の供用を開始し、その後、水源水質の悪化に対応するための高度浄水処理施設の整備(平成6年度)や、地下水の硬度対策のための硬度低減化施設の整備(平成15年度)などを進めてきました。

供用開始以降、水質基準改正等に伴う浄水処理の運用変更や管理強化による処理能力の低下、施設の老朽化、耐震化、津波対策などの新たな課題が生じており、企業局では、これらの状況の変化に適切に対応するため、平成21年度から北谷浄水場の施設整備事業に着手し、令和5年度の完了に向けて取り組んでいるところです。

北谷浄水場施設整備の主な内容

- 排水池排泥池の改良 : 沈でん池、ろ過池の洗浄排水処理能力増強
- 送水ポンプの改良 : 水道水の送水能力増強、老朽化対策
- 沈でん池の改良 : 沈でん池処理能力増強、耐震化対策
- 浄水処理フローの見直し : より効率的な水処理方法

※ 上記内容は一部であり、本事業は北谷浄水場の場内施設全般を改良するものです。



(写真) 沈でん池改良後



(写真) オゾン発生器改良後

名護浄水場施設整備事業

名護浄水場は、沖縄本島北部に水道用水を供給する基幹浄水場として昭和50年度に給水を開始しています。

供用開始以降に約40年以上が経過し、機械、電気設備の老朽化や施設の耐震化等が課題となっていました。また、今後の水需要に対応するための機能増強や水源水質の悪化等に適切に対応するため、平成25年度から施設整備事業に着手し令和11年度に完了する計画となっています。

名護浄水場施設整備の主な内容

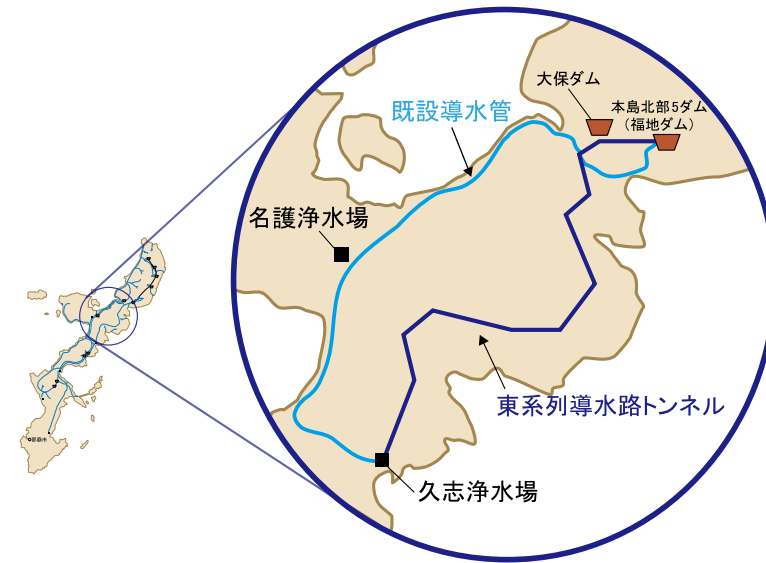
- 活性炭施設の整備(かび臭対策)
- 電気・機械設備の更新
- 沈でん池、ろ過池の機能増強



(写真) 活性炭施設の整備(新設)

東系列導水路トンネル改築事業

総延長: L≒27,755m(福地逆サイフォン～久志接合井)



導水路トンネルは、福地ダム等の沖縄本島北部5ダムの水道原水を久志浄水場まで導水する目的で昭和47年から50年に建設されたもので、企業局全体の水道原水の約50%の水量を導水する重要な施設です。

建設から40年以上が経過し、導水路トンネルの老朽化対策が必要なことから、平成29年度から導水路トンネル内部の改築工事に着手しています。

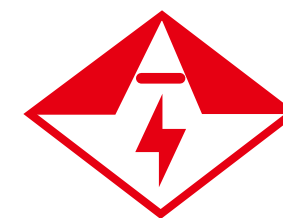
また、導水路トンネル改築時には、既設導水管で本島北部5ダムの水道原水を本島西海岸に迂回して水源水量を確保する予定です。



(写真) 東系列導水路トンネル内部



(写真) 東系列導水路トンネル内部調査状況



県電気工事ランクA(令和3年-4年度)

株式会社 安謝橋電機

代表取締役 平良 博

本社 / 浦添市西原二丁目1番3号 TEL(098) 877-7802(代)

北部支店 / 名護市字真喜屋672番地 TEL(0980) 58-2365